

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成 20年 6月 23日 午後 7時 00分から午後 9時 10分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 2階会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、井出守雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、柿島祐子委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、佐藤栄作委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、滝澤由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、曲尾行雄委員、松代典之委員、依田せつ子委員、依田則俊委員 (欠席者 1名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、桜井建設課長、児玉教育事務所長、児玉地域政策担当係長、掛川主事
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 20年 7月 4日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会 (広川課長)
- 2 会長あいさつ (桜井会長)
- 3 センター長あいさつ (宮下センター長)
- 4 協議事項
- (1) わがまち魅力アップ応援事業プレゼンテーション選考
- ・プレゼンテーション選考について説明 (事務局)
- 個性あるふるさとづくり応援事業に 1自治会、特色あるまちづくり応援事業に 3団体から応募有。
- 1団体プレゼンテーション時間は 15分間を予定。申請者が事業説明を 5分程度行い、その後質疑応答を 10分程度行う。委員は、審査調書の項目に沿って事業を評価し、点数を記入する。採点基準は 10の審査項目を「5点・3点・0点」の 3段階で採点していただく。50点満点の採点で、平均 20点を基準とする。
- プレゼンテーションでは、助言や提言をして事業がより良いものになるように配慮いただきたい。また、応募のあった事業に委員が関与するものがある場合は、選考を辞退していただく。
- ・「個性あるふるさとづくり応援事業」プレゼンテーション選考
- 【1余里自治会：一里花桃の里、余里自治会整備事業】
- 花桃の里の環境整備と地域の連帯感の醸成に努める。
- 花桃周辺の下草刈り、除草作業、花桃の開花期間の 4月下旬から 5月上旬に、シャトルバスの運行や仮設トイレ、売店を設置し、大勢の皆さんに花を楽しんでいただく。
- 【質疑・意見】
- (委員) 売店で売っている苗木の代金は何に使われているのか。
- (申請団体) 駐車場の整備管理や仮設トイレの借上等に使ってきた。
- ・「特色あるまちづくり応援事業」プレゼンテーション選考
- 【1武石山岳会：ヒカリ苔輝く美ヶ原焼山沢登山道整備事業】
- 焼山沢登山道の整備管理、登山者の安全確保並びにヒカリ苔を始めとする美ヶ原の貴重な植生保護を図ることを目的とする。
- 【質疑・意見】

(委員) 焼山沢は自然豊かなすばらしい登山道だが、危険な道でもある。大きな補修は行政に任せ、事故のないようお願いしたい。安全確保のため、荒天時には登山中止の看板を立てるなど対応した方がよいと思う。

(委員) 今まで武石山岳会で活動されていたと思うが、その資金はどうしていたのか。

(申請団体) 登山者から倒木等の危険箇所が報告されれば、行政で対応してもらっていた。

(委員) ヒカリ苔をどう保護していくのか。

(申請団体) 市教育委員会と協議し、現在、市の天然記念物指定の申請をしている。指定されれば看板等を設置し、保護を呼びかける。

(委員) 武石山岳会の会員数は増えているのか。

(申請団体) 現在、会員は三十数名。年々増えており、他市町村の会員も多い。

【2武石早起き野球連盟：武石早起き野球連盟 40周年記念！100周年以上まで続くように将来の会員を育てようプロジェクト】

信濃グランセローズの選手を迎え、プロのプレーを見たり指導を受けたり、子どもから大人まで野球に興味を持ってもらい、将来の早起き野球連盟会員を育て地域コミュニティーの核として活動していきたい。

【質疑・意見】

(委員) 運動離れしている子どもが増えているので、親世代が参加したり、子どもに対し参加するよう呼びかけてもらう必要があるのではないか。

(申請団体) 保護者を対象にした教室も計画している。

(委員) 大勢参加してもらえよう、十分宣伝をしてもらいたい。

【3武石音頭・武石小唄を愛し保存する会：『見よ美しの歌』伝承・文化交流事業】

地域の伝統ある歌「見よ美しの歌」の伝承と復活、またこの歌の縁で結ばれている広島県熊野町と交流を図り、地域の活性化に寄与する事業として実施する。

【質疑・意見】

(委員) コンサートの開催時間は何時か。

(申請団体) 8月12日の午後4時から予定している。

(委員) 武石夏祭りの日であるが、平日であり時間的に集まりづらい時間なので、宣伝等をしっかりしてもらいたい。

## (2) 部会の構成について

- ・武石地域協議会に「市民生活部会」と「地域振興部会」を設置（正副会長を除き、各部会9人ずつ）  
市民生活部会（市民生活、健康福祉、教育担当） 部会長 曲尾行雄、副会長 滝澤由美子  
地域振興部会（地域振興、産業観光、建設担当） 部会長 清住章雄、副会長 井出守雄 に決定。

## (3) 選考審議

(事務局) 申請のあった全事業の採点の平均点は20点以上であった。

(会長) それぞれの事業を採択することに異議はあるか。

- 採択することに全員賛成 -

(事務局) 選考点数、意見等については、次回協議会でお知らせする。選考結果は、武石地域協議会の意見書として市長宛に提出する。

## 5 報告事項

(1) 上田市公共交通活性化プランについて（担当課：地域交通政策課（説明代理：建設課））

【報告要旨】

- ・誰もが公平に利用できる公共交通体系を構築するために「上田市公共交通活性化プラン」を策定

・武石地域の交通体系の再編案

デマンド交通は、丸子方面便すべてを大屋駅発着とし、フリーエリアを下沖から腰越橋まで拡大する。

千曲バスの武石便は、朝夕 5 便（内 2 便は下秋和発着、残り 3 便は大屋駅発着）とし、日中の運行はデマンド交通へ移行する。

上田駅と大屋駅に、わかりやすいバスの乗り継ぎ情報案内板を設置する。

・「乗って残そう！」我が地域の公共交通 乗らなきゃなくなっちゃうよ！！

武石地域のバス運行に対する市の補助額

（武石線）平成 18 年度市補助額は、約 550 万円（年間 550 万円の赤字運行）。今回の再編案実行後の赤字額は、約 420 万円と予測される。

（デマンド交通）平成 18 年度市補助額は、約 960 万円（年間 960 万円の赤字運行）。今回の再編案実行後の赤字額は、約 1,200 万円と予測される。

市内のバス利用者は、年々減少傾向にある。「乗って残そう！」を合言葉に、会社などの組織でノーマイカーデーに取り組んだり、個人でも健康や環境のために公共交通を利用したりして、地域の公共交通を残す行動が必要。

・よりよい公共交通とするためご意見があれば伺いたい。アンケートを 6 月 30 日までをお願いしたい。

【主な質疑・回答】

（委員）朝早くから運行すれば、高校生の通学に使ってもらえるのではないかな。

（建設課）アンケートでも意見をいただいている。現状では難しい面があるが、要望としていただいております。

（委員）デマンド交通を今後全市域に広げる考えはあるか。

（建設課）現状の公共交通を生かすことを前提としているため、全市域に広げることは難しい。

（委員）既存の公共交通以外のところをカバーできるようにお願いしたい。

（委員）日中に下沖まで来ていた千曲バスはどうなるのか。

（建設課）調べて後日お知らせする。

（委員）変更するにあたっては、早めの周知をお願いしたい。

6 その他 特になし

7 閉会（小山副会長）

\* 会議概要は原則として公開します。

\* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。